

会議録

会議の名称及び会議の回	令和7年度 飯田市社会教育委員会議 第1回臨時会
開催日時	令和7年4月16日(水)午後6時30分～7時35分
開催場所	飯田市役所 C311号会議室
出席委員氏名(敬称略)	伊藤緑、今村智子、今村光利、北原重一、後藤正幸、 小西盛登、竹内稔、中村由美子、長谷部智子、三浦宏子
出席事務局職員	熊谷教育長、秦野教育次長、瀧本副参事中央図書館長、上沼教育政策課長、伊藤学校教育課長、後藤生涯学習・スポーツ課長兼国民スポーツ大会推進室長、下平文化財保護活用課長兼考古博物館館長、小林公民館副館長、筒井文化会館長兼新文化会館整備室長、楨村美術博物館副館長、牧内歴史研究所副所長、本島生涯学習・スポーツ課長補佐兼社会教育係長、上倉主事、樋口主事、片桐教育支援指導主事
会議の概要	以下のとおり

1 開会

(本島生涯学習・スポーツ課長補佐兼社会教育係長)

ただいまから令和7年度社会教育委員会議第1回臨時会を始めさせていただきます。

進行します生涯学習・スポーツ課の本島です。よろしくお願いいたします。

2 委嘱状交付

(本島生涯学習・スポーツ課長補佐兼社会教育係長)

委嘱状の交付を行います。

～熊谷教育長より委嘱状交付～

3 あいさつ

(熊谷教育長)

皆さんこんばんは。桜が満開になってからしばらく経ちますが、このところ寒い朝が続いて、まだまだ楽しむことができるとともに、花桃が咲き始めて花盛りのいい季節になってきました。

ただいま委嘱状をお渡しいたしました。これから2年間という任期でございますが、よろしくお願ひいたします。

私も学校現場にいる頃に社会教育委員として出席させていただきましたが、ここにもいらっしゃる大先輩方にちゃんと物言わなきゃダメだよって言われてですね、何を言えばいいんだろうと思いながら、参加した思い出がございます。その中で学ばせていただいたことは、飯田市は学校教育と社会教育と両方を大事にしている市だということを社会教育委員を経験させていただいたことで、とても勉強になりました。

そこには様々な背景があり、この地域の素晴らしいところでもあると思いますが、地域の皆さん方が主体的に様々なことに取り組んで、それを行政が応援したり支援をしたりしていくというシステムがかなり前からあり、公民館活動を見ても非常に熱心に行われており、自分たちの生活を自分たちで作っていくという、そういう風土のある飯田市かなと改めてその時に認識をしたところでございます。

社会教育委員としての目的は、この後説明をされると思いますが、私が社会教育委員になった時に、まず「オーケストラと友に音楽祭」の招待が来て、一体何すればいいんだろうっていうことを最初思つたりしましたけども、これから様々なご案内があると思います。

初めての委員さんの方もいらっしゃいますので、この飯田市の社会教育、生涯学習ってどのように行われていて、課題はどういうことなんだろうとか、良さはどういうことなんだろうということを、それぞれのお立場の視点から見ていただいて、市の社会教育行政についてご意見を賜ればありがたいなと思っています。

近々やまびこマーチがありますけども、去年より参加予定者が増えているということですが、8月には市民の皆さんと一緒に作り上げたいと思っている人形劇フェスタもございますし、他にも様々な取組があるわけですけども、世の中がだんだん変わってきて、地域を担っていく方々が少しずつ高齢化、少子化に伴って少なくなっているという状況も大きな課題として浮かび上がっております。そういう中で、どのような取組や支援の形がいいのかということについてもご意見をいただけるとありがたいと思います。

今年度から、教育振興基本計画後期の取組がスタートいたしました。そこで合言葉は、「ムトスの学びで未来をつくる」になっています。もちろん、「地育力による 未来をひらく 心豊かな人づくり」という大きなビジョンはそのままですが、その下に「ムトスの学びで未来をつくる」というキーワードを載せました。そもそも「ムトスの学び」って何かというところからですけども、飯田市が大事にしてきた住民自治の成果をさらに充実していきたいということで、学園構想もこの4月にスタートしていますが、「何々しようとする」という主体的な学びを大事にしていきたいと考えているところでございます。

そのことを社会でも、大人の皆さんも、もう1度その思いに立って進めていただいたら、きっとまたこの地域の未来を作っていくことに繋がっていくのではないかと、そんな願いも持っております。

言うは易し行うは難しというところもありますが、大事なことは、自分たちがやりたいことをやれる、その中でワクワクしたり楽しかったり、そんな取組がこれからの地域の未来を作っていく、担い手を育てること

にも繋がるのではないかとも思っているところでございます。

そうした後期の取組などもご理解をいただきながら、様々な観点、それぞれのご専門のお立場、視点から意見を賜り、そのことが行政の方に役立てていけたらなと思っております。

この会は飯田下伊那の会にもつながり、さらには県の会にも繋がっていくという組織でもございまして、これからお決めいただく座長さん、副座長さん、その他の皆さん方にも会議などに参加していただいて、ご意見を出していただいたり、一緒に考えていただけたりするとありがたいと思っています。

いずれにしましても、お仕事と、お忙しい中での $+ \alpha$ の仕事であったりしますので、大変なこともあるかと思いますけども、飯田市の社会教育の充実のためにお力添えをいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

4 委員・職員自己紹介

(本島生涯学習・スポーツ課長補佐兼社会教育係長)

続きまして、委員・職員の自己紹介に入ってまいりたいと思います。

委員の皆様から自己紹介をしていただきまして、その後、職員のほうで自己紹介をさせていただきたいと思います。

<委員・職員自己紹介>

5 説明・確認事項

(本島生涯学習・スポーツ課長補佐兼社会教育係長)

(1)から(3)まで一括してご説明申し上げます。

(後藤生涯学習・スポーツ課長兼国民スポーツ大会推進室長)

資料No.2をご覧ください。飯田市教育委員会の組織及び社会教育委員の位置づけでございます。飯田市教育委員会から委嘱させていただき12名の皆様で社会教育委員会議を構成いただいている。社会教育委員の任期は2年で、教育委員会に対して社会教育に関する助言をしていただくことが主な任務となっております。また、教育委員会の下には、教育次長以下教育行政機関と教育機関で構成する市の組織がございますので、資料をご覧いただきご確認ください。

続きまして、資料No.3でございます。社会教育委員についての根拠となる社会教育法や飯田市社会教育委員条例の条文をつけさせていただいておりますので、ご確認ください。

続いて資料No.4、長野県社会教育委員の手引きでございます。これに沿ってご説明をさせていただきまます。社会教育委員の役割でございますけれども、先輩たちからのアドバイスが書いてございますが、それ

ぞれ得意とされている分野でご活躍をされている皆様方だと思いますけれども、地域の社会教育事業を見ていただいたり、参加いただいたり、住民の皆さんとの声をぜひ聞いていただいたりなど積極的にご参加をいただければと思っております。また、社会教育委員さんのお互いの活動についての情報交換をしていただいたり、様々な研修会などに参加していただいたりして、ネットワークを広げていただければと思います。教育委員会事務局の職員とも意思疎通を図っていただき、飯田市の社会教育がより良くなっていくようお力添えをいただければと思います。

続いて、皆様方の身分でございますけれども、非常勤の地方公務員ということになります。

9ページには具体的に社会教育委員として何をやっているかという事例が出ておりますのでご覧ください。

10ページ、11ページには、社会教育委員に期待されていることや活躍された皆様方のお声が載っておりますので、ご覧いただければと思います。

12ページでございます。学校教育と社会教育の違いが書かれております。分かりやすく整理したものが13ページの絵になります。学校教育と社会教育と家庭教育、それから自己による学習までを1つにしたものが生涯学習ということになります。それぞれ学ぶ場所や学習機会などで区別されています。この絵の社会教育分野について皆様方からは助言をいただきたいと考えております。

以上です。

6 協議事項

(後藤生涯学習・スポーツ課長兼国民スポーツ大会推進室長)

それでは、座長、副座長の選出について皆様方からご意見を頂戴できればと思います。

特になければ、事務局の腹案を発表させていただくという形でよろしいでしょうか。

(よしという声あり)

ありがとうございます。それでは腹案を発表させていただきます。

座長は後藤委員にお願いしたいと思います。

副座長は三浦委員にお願いをしたいと思います。

いかがでございましょうか。

(拍手多数)

全員の皆様から拍手を頂戴いたしましたので、後藤委員と三浦委員におかれましてはよろしくお願いいいたします。それでは、大変恐縮ではございますが、正面の席の方へご移動いただき、それからご挨拶をお願いできればと思います。

(後藤座長)

ただ今、座長に選出をいただきました。昨年からの経験しかありませんし、私も学んでいる最中であります。「好機」と捉えていきたいと思います。お世話になりますが、よろしくお願ひいたします。

(三浦副座長)

副座長を仰せつかりました三浦と言います。よろしくお願ひいたします。

ちょっと緊張しますけれども、後藤先生が座長なので安心しております。よろしくお願ひいたします。

(後藤座長)

それでは、次第に従って進めていきたいと思います。

協議事項の(2)です。審議会等への委員の選任についてということですが、そのことについてまず事務局より説明をいただきたいと思います。

(本島生涯学習・スポーツ課長補佐兼社会教育係長)

資料No.5をご覧いただきたいと思います。

社会教育委員さんには様々な審議会等へのご出席について依頼が来ておりまして、皆様方にその役をお願いできればありがたいなと考えております。まず、簡単にそれぞれの役をご説明させていただきます。

飯伊社会教育員連絡協議会の理事です。飯田下伊那の社会教育委員の皆様方で連絡協議会を作つております。この組織の方へ飯田市から 2 名の理事の選出の依頼がございます。4月23日に理事会がございます。また、12月3日にも理事会があるという日程になっております。理事会以外にも、総会や研修会、ブロック研修会等もございますが、これらは全ての委員さんにお声がけさせていただきまして、可能な限りのご出席を依頼してまいります。

そのうち1名の方は兼ねて県の代議員ということでお願いしたいと思います。県の代議員というのは、長野県社会教育員連絡協議会の総会において、議案に対する議決権を行使していただく方ということでございまして、年に 1 回ということになろうかと思います。それ以外に県の研究大会等ございますけれども、これらは全ての委員さんにお声がけさせていただいて、可能な限りの参加をお願いしていくものとなります。

次に、「人形劇のまち飯田」運営協議会です。これは、令和6年度から3年間の委員選出で、昨年度より森本委員にお願いしております。引き続きということでお願いをさせていただくものでございます。概要をご説明させていただきますと、飯田の人形劇に関わる様々な皆さんと連携をして「人形劇のまち飯田」の魅力を高めていくことを目的に設置されておる協議会となっております。

年に 1 回程度の会議で、内容とすると、人形劇に関わる意見交換、活発な活動を進めていくための方策

の検討等をこの会議では行っていくということになっております。

その次、飯田市キャリア教育推進協議会の委員ということでございます。

第2次飯田市教育振興基本計画の後期の取組の中で、今まで「キャリア教育」と名称を付けてやっておりました取組を、本年度からは「みらい創造教育」と名称を変えて取り組んでいくこととなります。近々、このキャリア教育推進協議会につきましても名称の変更をした上で進めてまいりたいと考えておりますけれども、幼児期から高等教育期までの発達段階に応じた体系的なキャリア教育の推進について、委員の皆様方には年に2回程度、協議会にご参加いただいてご意見を頂戴したいと考えておるものでございます。また、2月にはキャリア教育推進フォーラムもございまして、そちらの方へのご出席もお願いできればと考えております。このフォーラムは、委員の皆様全員にお声がけをさせていただく予定でございます。

続きまして、飯田市中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会でございます。これは、中学校での部活動の地域移行につきまして、委員の皆様方からご意見をいただきながら進めていくためのものでございます。任期は2年間で、部活動の地域移行の進め方に関するご意見をいただくこと、またその中にある課題に関してご意見をいただくこと、指導者の確保など様々ご意見をいただきたいと考えています。

選出された委員さんは、本部会が年に3回程度、分科部会が年に2、3回程度ございますので、この両方にご出席をお願いしたいと考えております。

続きまして、わが家の結いタイム推進協議会の委員でございます。飯田市では、家庭で親子が一緒に過ごす触れ合いの時間、これを「わが家の結いタイム」と呼んで推進しています。委員の任期は1年で、この委員に関しては、お名前を既に載せさせていただいておりますが、校長会から選出されている委員の方に出ていただいている、北原委員にお願いをしたいと考えております。

いいだ未来デザイン会議委員です。いいだ未来デザイン2028後期計画が本年度よりスタートしておりますが、昨年度までは永井委員にお務めいただいておりまして、今年度から計画が動き出したということで進捗管理をしていくということが委員の役割となっておりまして、年に1回程度の会議ということで聞いております。

これ以外に、昨年度までは飯田市青少年問題協議会委員と青少年育成センターの青少年育成推進委員についても社会教育委員の皆様方の中からご推薦をいただいておりましたけれども、それぞれ委員構成の見直しを行いまして、委員数を縮小するということになりましたので、社会教育委員さんの中からの選出はなしということになりました。

説明は以上です。

(後藤座長)

丁寧な説明をいただきました。何か今説明いただいたことでお聞きしたいことございますか。

森本委員は「人形劇のまち飯田」運営協議会委員の任期の途中ということですか。

(本島生涯学習・スポーツ課長補佐兼社会教育係長)

昨年度お受けいただきまして、3年任期の今年は2年目となります。

森本委員が社会教育委員を今年度継続でお受けいただけるということでございますので、この委員も引き続きお願ひしたいと考えております。

(後藤座長)

ありがとうございます。ただ今お話をありましたように、昨年まで選出していた委員会が2つほど減少しているということです。また、本日欠席されてる委員さんもおいでになりますし、新たな委員さんも4名ほどおいでになるということで、事務局に案があればそれを示していただきたい、皆さんにお諮りしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(賛同する旨の反応あり)

では賛同いただきましたので、事務局よろしくお願ひします。

(本島生涯学習・スポーツ課長補佐兼社会教育係長)

ありがとうございます。委員の皆様方にお受けいただく案を考えて参りましたので、発表させていただいて、ご検討いただければありがたいと思います。

飯伊地区社会教育員連絡協議会の理事でございますけれども、後藤委員に飯田市の座長と兼ねてお受けいただければありがたいと思っております。

飯伊地区の社会教育委員会協議会の理事と兼ねて県の代議員でございますけれども、例年副座長さんにお受け頂いていた役でございますけれども、多くの委員の皆様に広くお受けいただきたいということ、また副座長をお受け頂いた方の負担を軽減していきたいということも含め、今村光利委員にお願いしたいと考えています。

それから、飯田市キャリア教育推進協議会の委員でございますけれども、中村委員にお願いできればと思っております。

次の中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会につきましては、三浦委員に過去よりご協力いたしております、継続検討の課題も多くあるものですから、引き続き三浦委員にお願いしたいと考えています。

わが家の結いタイム推進協議会につきましては、北原委員にお願いしたいと考えています。

いいだ未来デザイン会議委員は、今日ご欠席でありますけれども、PTAのご経験も生かしていただきご意見を頂戴できればと考えまして、熊谷委員にお願いしたいと考えております。

なお、ご欠席の熊谷委員には、事前に連絡を取らせていただき内諾をいただいております。

事務局からは以上となります。

(後藤座長)

ありがとうございました。事務局案ということでお話をいただきました。

委員として指名された方、またそうでない方もおいでになりますけれども、いかがでしょうか。

(賛同する旨の反応あり)

皆さん笑顔で納得してくれています。これは素晴らしいことです。

それでは、それぞれの皆さん、頑張っていきたいと思いますが、よろしくお願ひいたします。

ありがとうございました。

7 教育委員会各課・館・所からの報告事項

(本島生涯学習・スポーツ課長補佐兼社会教育係長)

お配りいたしました資料等を使いましてご説明を順にさせていただきます。

(後藤生涯学習・スポーツ課長兼国民スポーツ大会推進室長)

それでは、生涯学習・スポーツ課からご連絡、ご報告させていただきます。

まず、飯田やまびこマーチです。3月末時点で1,429人の方からお申し込みをいただいておりまして、前年の事前申し込みと比較をしますと22人多い状況でございます。今回のやまびこマーチから高校生以下無料とさせていただいております。昨年は当日参加の高校生が1名だけでしたが、今回は事前申込の段階で11人の申込がございました。当日天気が良ければさらに多くの方にご参加いただければと準備を進めております。

続きまして、第51回いいだ子どもまつりということで、今度の日曜日に四季の広場で行われます。森本委員が関わっておられます。

それから、おもしろ科学大実験のチラシを配らさせていただいております。5月のゴールデンウィーク、3日、4日にかざこし子どもの森公園で予定されております。よろしければ、三浦委員の方からご説明いただければと思います。

(三浦委員)

4月から11月まで日曜日に理科実験ミュージアムをやっていますが、その中の一大イベントになります。かざこし子どもの森公園のオープン記念に合わせた日程で 5 月の連休に行うもので、3日の日は午前中

はバルーンスライムなどのブースを高校生が手伝ってくれて、午後はテックレンジャーショーを行います。4日の日曜日は、ブースもやりますが、東京の方から先生をお招きして、長時間回るコマをやります。そういう体験ができるので、大人もこどももとても楽しいのではないかと考えています。

ボランティアをまとめているところなんですが、これを皮切りに高校生たちも大勢ボランティアに来てくれるようになってきています。ぜひ皆さんも社会教育の一環として見に来てください。よろしくお願ひします。

(瀧本副参事中央図書館長)

図書館からお願ひいたします。大正4年に飯田町の図書館として開館した中央図書館が今年 110 周年を迎えます。中央図書館開館110周年記念事業「みんなで作る明日の図書館」ということで、この1年記念イベントを予定しております。

図書館マルシェは現在出展を募集しておりますが、個人や団体の方で図書館を会場にやってみたい企画を集めて開催します。

また、110年の歴史を振り返るあゆみ展、図書館の明日を語る会、その下に「よむとす こんなほんいかが」と書いてありますけれど、こちらは毎月2回、図書館職員が本の紹介をウェブサイトと南信州新聞で行っておりますけれども、110周年にあたって、職員以外の方にも本の紹介をしたい方を募って紹介いただく予定です。

それから、図書館のPR動画の制作ということで、飯田コアカレッジの探究学習で学生さんたちにご協力をいただいて、図書館のPR動画を作ります。

現在、「いい図書110もりあげ隊」という名前の実行委員会の皆さんと一緒に企画をして準備を進めております。図書館に多くの方に来ていただくとともに、図書館が交流活動の場にもなるように取り組んでいきたいと考えております。

(牧内歴史研究所副所長)

歴史研究所から歴研ニュースにつきまして説明させていただきます。

歴研ニュースは年6回、偶数月に発行させていただいております。

今回135号ということで表紙には、歴史研究所第6期中期計画の概要につきまして掲載してございます。開きまして 2 ページですが、今年度の研究人材育成の事業にあたります市民研究員の募集、研究活動助成、飯田歴研賞2025の候補者の募集ということで掲載してございます。

3 ページの方ですが、新刊案内としまして3月に刊行しました『史料で読む飯田・下伊那の歴史4 満州移民・青少年義勇軍』ということで、この本の内容と、今年度はこの本の執筆者を講師にしまして、この満

州移民・青少年義勇軍に関する地域史講座を5月、6月、10月の3回開催する予定でございます。第1回目の講座は、5月24日の土曜日に市役所3階を会場に開催しますので、そのご案内を掲載してございます。

4ページも、上段につきましては、新刊案内としまして、2月に刊行しました年報22号の紹介をしております。下段は、4月、5月のゼミナール、自主的ワークショップの開催日について掲載してございます。

以上でございます。

(槇村美術博物館副館長)

続きまして、美術博物館からご案内をさせていただきます。美術博物館・飯田市考古博物館の今年度の事業についてまとめた冊子でございます。

開けていただきますと、展覧会、プランタリウム、考古博物館、裏側には、講座、ワークショップ等のご案内があります。かいつまんでお話をさせていただきたいと思います。

まず、美術博物館の展覧会ですが、今年の特別展は山とともに生きる—遠山郷のあゆみとくらし—という展覧会を開催いたします。遠山に焦点をあてまして、特に山林資源と人の暮らしの関わりというものをテーマに展覧会を作っております。

続きまして、自然分野の企画展ですが、高山植物と高山昆虫からたどる南アルプス博物館の120年という展覧会を行います。

南アルプス地域の学術調査というものを行うために登山をするわけですけども、その学術とその登山の歴史というものに焦点を当てながら、現在の南アルプスの学術的な成果を紹介するという展覧会でございます。

それから、美術部門では、写真家60周年記念展水谷章人の世界という展覧会を行います。

現在、藤本四八記念小中学校高校生写真賞の審査員を務めていただいている水谷さんは飯田市の出身でスポーツ写真の第一人者でございますけども、その水谷さんが写真家60周年ということで、これまでの作品をご覧いただくという予定でいます。

それから、トピック展示でありますけども、今年は特に田中芳男関係のことに焦点を当てていきたいと考えております。自然分野では、帰ってきた植物化石ということで、田中芳男が集めた天産部の標本について焦点を当ててまいります。文化の方では、田中芳男の多くの資料をご寄贈いただいておりますが、その修復が済んでおりますので、その作品を現在展示しています。また、今年ちょうど関西万博が行われていますけども、万博の最初の参加に田中は関係しておりますので、万国博覧会と田中芳男というテーマで開催をしていくということでございます。

以上です。

8 今後の日程

(本島生涯学習・スポーツ課長補佐兼社会教育係長)

4月23日の飯伊地区の理事会は、後藤委員と今村委員にご参加いただくものとなります。

6月19日の午前中は、県の社会教育員連絡協議会の総会でオンラインと聞いております。例年、この総会に合わせて表彰と講演会を行っておりましたが、今年度につきましてはこの表彰と講演会は9月8日の研究大会に合わせて行うと聞いており、6月19日は総会だけと聞いております。

6月20日は飯伊地区連絡協議会の総会と研修会で、会場は下條村となっております。改めて皆様にご参加のご案内をさせていただきますので、ご出席の方、お願ひできればありがたいと思います。

9月8日の月曜日は県の社会教育研究大会で、表彰と講演会を含んだ終日の行事として、県の総合教育センターで行われます。車を準備する予定ですので、ご参加いただければありがたいと考えています。

それから、第1回の社会教育委員会議の定例会ですが、9月の中旬から下旬にかけてということで予定しております。日程はこれから決定してまいります。令和6年度の社会教育に関する取組について等、皆様方にご審議いただきたいと考えています。

それから、10月30日から31日、11月20日から21日にかけて、それぞれ全国の大会、関東甲信越静での大会が予定されております。例年、参加を取りまとめるということはしておらず、ご案内だけさせていただいていることで、旅費も準備できなくて心苦しいわけでございますが、参加される方は自費でご参加をいただくような形になっております。

12月3日が飯伊の理事会ということでございます。

年度変わりまして、令和8年の2月には第2回の定例会、これは令和8年度に向けた社会教育の取組についてご提案させていただき、ご協議いただきたいということを予定しております。

未定ではありますが、飯伊の連絡協議会の中北部ブロックの研修会が大鹿村で予定されております。ご案内が参りましたら、皆様方にご連絡させていただきます。

その下には、参考として県の社会教育委員連絡協議会の理事会の予定を入れてございますので、ご参考までに。日程については以上でございます。

9 その他

(本島生涯学習・スポーツ課長補佐兼社会教育係長)

委員の皆様方からご発言があればお願ひします。

(発言する者なし)

(本島生涯学習・スポーツ課長補佐兼社会教育係長)

ありがとうございました。

10 閉 会

(本島生涯学習・スポーツ課長補佐兼社会教育係長)

以上もちまして、第1回臨時会を終了とさせていただきます。